



PE-50 D/R OWNER'S MANUAL

RodoShow

PGO SCOOTERS

お客様へ

この度は RodoShow をお買上げ頂きまして、誠に有難うございます。スクーターの性能及び乗車年数は正しい乗り方によって違います。

本取扱説明書には操作方法・簡単な調整方法・整備が書かれておりますので、最後までお読みになった上でいつでもご確認できるようお手元に置いて下さい。

また操作方法及び整備に関する質問がございましたら、お買上げいただきました PGO 取扱店へお気軽にお申しつけ下さい。

排気ガスに関しては、製造当時の排気ガス基準に適用しております。あなたの生命及び愛車の使用寿命を守るため、また排気ガスを基準値に確保するためにぜひ取扱説明書に従って、操作方法と整備を行うようお願い申し上げます。

目次

ユーザー情報	17	メンテナンス	8
安全運転について	1	定期点検スケジュール	9
各部の説明	1 - 2	キャブレター調整	10
操作と表示	4	ギヤオイルの交換	10
ハンドル	4	スパークプラグの点検	10
イグニッションスイッチ&シート解除	4	エアクリーナーの清掃	11
スターティングボタン	4	バッテリー	11
ヘッドランプスイッチ	5	トラブルシューティング	12
HI/LOビームスイッチ	5	エンジン始動における不具合	12
ホーンボタン	5	走行における不具合	13
シグナルランプスイッチ	5	主要諸元表	14
エンジン始動	5	保証について	15
運行前点検	6		

安全運転のために（ 2 ページ ）

1. 右、左折をする時は明確にウインカーを出してください。
 2. 濡れた路面を走行する時は転倒を避けるために、ブレーキを徐々に適用し速度を落としてください。
 3. 駐車している車の横を通過する時は気をつけてください。
 4. 工事現場を通過する時は速度を落としてください。
 5. スクーターを洗った後、ブレーキ内部が濡れているかもしれませんので運行前にブレーキの効きを点検して下さい。
 6. 暗い場所を走る時はヘルメット、グローブ、明るい色のジャケットなど安全なものを着用しましょう。
 7. スクーターに荷物をたくさん積みすぎて過負荷にならないようにしてください。
- 安全運転をして PGO を楽しんでください。

（ 3 ページ ）



フロントラゲージボックス



サイドスタンド

センタースタンド

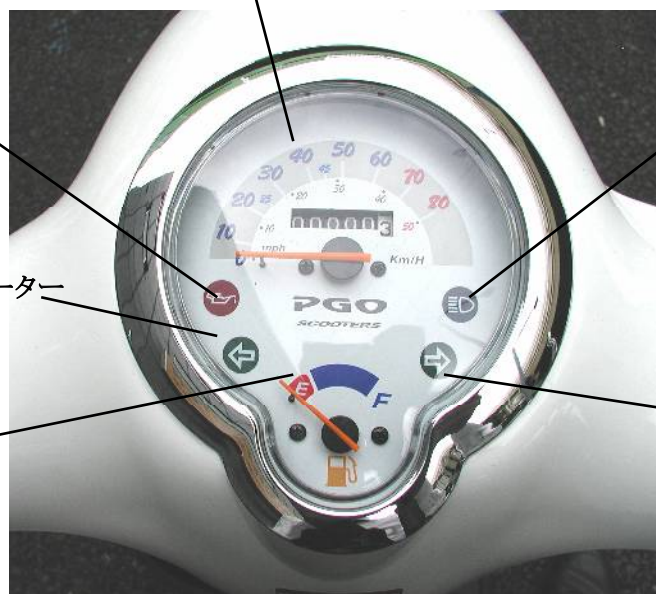
キックスターター

スピードメーター

オイルインジケーター

左シグナルランプインジケーター

フューエルメーター



ハイビームインジケーター

右シグナルランプインジケーター

※ EEC 指定のため省略します。

ハンドルバースイッチ (6ページ)

HI/LO ビームスイッチ

ヘッドランプスイッチ

シグナルランプボタン

ホーンボタン

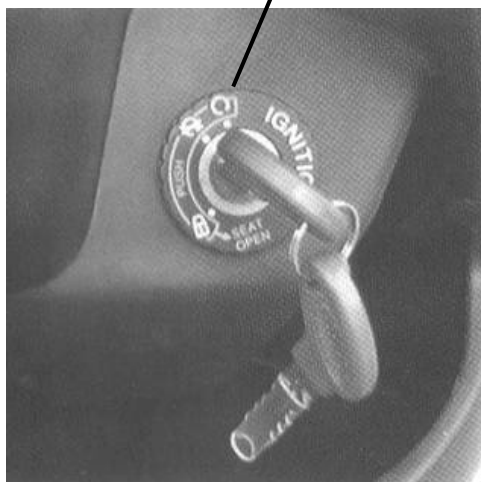


スターティングボタン

イグニションスイッチ

イグニションスイッチ (ハンドルロック解除) (7ページ)

ON



注意

鍵を押しながら左にひねるとシートが開きます。

イグニションキーまたはフロントフォークをロックしたい場合、直接キーを左側に回してください。

※ ロックをする時は押しながら回さないでください

操作と表示 （ 8 ページ ）

a . ハンドルバー

1. **スピードメーター** : 巡航速度はキロメートルとマイル/時で示されます。
2. **フューエルメーター** : 燃料タンクの燃料レベルを示します。針が「E」を指すと残り 2 リットルを意味しますので燃料を補充してください。（図を参照してください）
3. **オイルインジケーターランプ**
イグニッションスイッチをつけた後、インジケーターランプは数秒だけ点灯します。
オイルの全容量は 1.2 リットルです。
残りのオイル量が約 0.25 リットルより下回ると、インジケーターランプが自動的に点灯し警告します。
オイル補充後、インジケーターランプは自動的に消えます。

注意

- ・ イグニッションスイッチを ON にしてもインジケーターランプが作動しない時はバルブが切れているかバッテリーが上がっているかもしれません。
PGO 取扱店に行って点検してください。
- ・ インジケーターランプが数秒後自動的に消えない時は、オイルタンク内のオイルがほとんど無い事を意味します。状態に応じてオイルを補充してください。
- ・ もし乗車中にインジケーターランプが点灯した時は、オイルの補充が必要な事を意味します。

4. ハイビームインジケーター （ 9 ページ ）

エンジンを始動し、ヘッドランプがついた状態で HI/LO ビームスイッチが「HI」ポジションにあるとハイビームインジケーターは点灯します。

5. シグナルランプ

操作している間は点滅し音が鳴ります。

b . イグニッションスイッチとシート解除 （ 7 ページの図を参照してください。 ）

OFF : 電気を切り、エンジンを止めます。キーはこのポジションで取ることができます。

ON : ● 電気が接続され、エンジンを始動できます。キーはこのポジションで取ることができません。

- キーを押しながら左にひねるとエンジンを切らずにシートを開けることができます。

LOCK : 盗難抑止のためにハンドルを左に切りキーをロックポジションにまわしハンドルをロックします。

キーはこのポジションで取ることができます。

c . スターティングボタン

スターティングボタンを押す前に電気が接続するようブレーキレバーを握ることを忘れないでください。

注意

- ・ エンジンが始動したらすぐにスターティングボタンを放してください。
- ・ 4 秒以上連続してスターティングボタンを押さないでください。
- ・ エンジンが動いている時には、スターティングボタンを押さないでください。

d . ヘッドライトスイッチ (10ページ)

ON : ヘッドライト、メーター照明ランプ、およびテールランプをつけます。

OFF : ヘッドランプ、照明ランプ、およびテールランプを消します。

※ 弊社のご提供致します製品は安全性を考慮しヘッドライトは常時点灯式に変更しております。
(従いましてスイッチはどこの位置であっても ON の状態です。)

e . HI/LO ビームボタン

ヘッドランプはハイまたはロービームに切換えることができます。

このスイッチが「HI」ポジションにある時は、ハイビームインジケーターが点灯します。



遠くを照らすランプを表しています

近くを照らすランプを表しています

f . ホーンボタン

このボタンを押すと警笛が鳴ります。

g . シグナルランプスイッチ

右シグナルランプは、スイッチを右に入れると点灯します。

左シグナルランプは、スイッチを左に入れると点灯します。

点灯させたシグナルランプを解除するには中央の白いボタンを押してください。

エンジン始動 (11ページ)

1. オイル、燃料、タイヤなど運行前に、スクーターの状態を点検してください。
2. エンジンを始動させる前に、センタースタンドを上位置に戻してください。(上げてください)
3. イグニションスイッチを "O" ポジションに回してください。
4. 後 (前) ブレーキレバーをしっかりと握ってください。
これはスクーターが飛び出すことを防止する準備です。
スターティングスイッチを作動させます。
5. スターティングモーターを始動させるために
 - (1) エンジンが冷えているならば、スロットルグリップを回転させる (開ける) 必要はありません。
エンジンは、スターティングボタンを押すことによって始動できます。
 - (2) 既にエンジンが暖まっている時にはスロットルグリップを 1/8 まわしスターティングボタンを押してエンジンを始動してください。
6. キックスターターでの始動
 - (1) エンジンが冷えているならば、スロットルグリップを回転させる (開ける) 必要はありません。
ブレーキレバーを握りキックペダルを強く蹴る事によってエンジンをかける事ができます。
 - (2) 既にエンジンが暖まっている時には、スロットルグリップを 1/8 まわしキックペダルにてエンジンを始動してください。

運行前点検 （ 12ページ ）

1. 潤滑油の点検と補充

オイル残量が0.25リットル以下であればオイルインジケーターが点灯します。
国内2輪4メーカーもしくは同等以上の2ストロークオイルを補充してください。

2. 燃料の補充と点検

フューエルインジケーターが「E」を指すと燃料が残り2リットル近くなりますので速やかに燃料を補充してください。インジケーターが「F」を指す時の容量は5.1リットルです。

3. スロットルグリップ

- ・ ゆるいかどうかに関わらず上下前後の向きを変えてみてください。
- ・ 操作が自由にできるかどうか硬くないか点検してください。

4. フロントブレーキの点検

フロントブレーキの効きが悪かったり **15ページ**にて説明しておりますブレーキフルード（オイル）が **LOWER** レベルを下回っているような時はブレーキパッドが消耗している場合がございますので、PGO取扱店にご相談ください。

5. リヤブレーキシュー（ドラムブレーキ） （ 13ページ ）

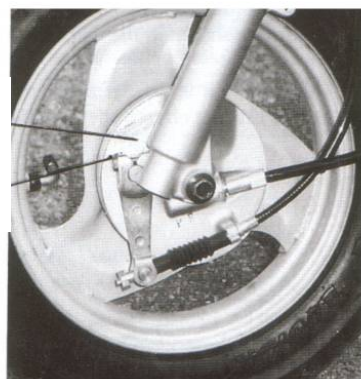
点検する間、しっかりとブレーキレバーを握ってください。

もしブレーキインジケーターの「△」とブレーキボードの「△」が接合するようでしたら、それはブレーキシューの交換が必要である事を意味しています。

PGO 取扱店にて新しいものに交換してください。

△サイン

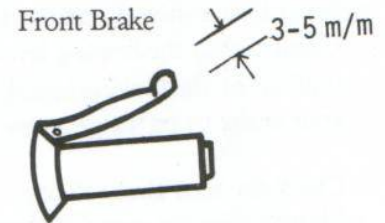
△サイン



6. ブレーキシステムを点検してください (14 ページ)

a) フロントブレーキ調整

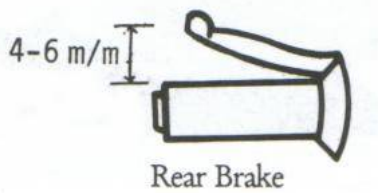
右の図のように適切なレバーのあそびは3~5mm です。



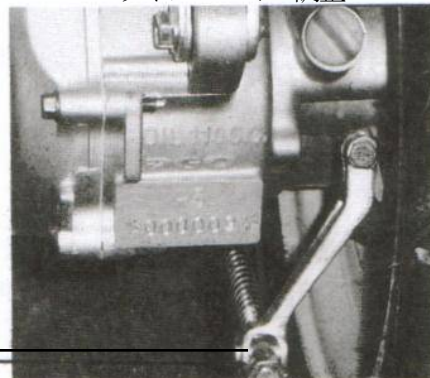
b) リヤブレーキ調整

右の図のように適切なレバーのあそびは4~6mm です。

調整後は、ブレーキの有効性をテストするためにゆっくり運行してください。



< リヤブレーキの調整 >



調整ボルト

あそびが少なくなります



あそびが大きくなります

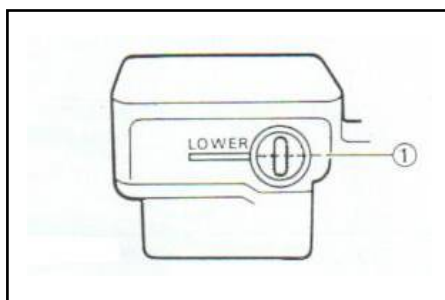


7. ブレーキオイル (ディスクブレーキ) を点検してください (15 ページ)

ブレーキオイルが不十分ですと、ブレーキシステムに空気が混入し、ブレーキの効きが弱くなります。

乗車前に、ブレーキオイルの量を点検し、必要であればPGO取扱店にて補充してください。

ブレーキオイルレベルはハンドルカバー右側の隙間から確認できます。



注意

ブレーキオイルの量を点検する前に、ハンドルを切ってマスターシリンダーが水平になるよう確認してください。

ブレーキ機能の損傷や漏れを避けるために推奨するオイルを使ってください。

推奨オイル : DOT4

8. ブレーキランプの点検

- ・ イグニションスイッチを「ON」にしてください。
- ・ フロント及びリヤブレーキを握りブレーキランプが点灯するか確認します。
- ・ ブレーキランプカバーが損傷及び汚れていないか点検してください。

9. シグナルランプの点検

- ・ イグニションスイッチを「ON」にしてください。
- ・ 前後左右のシグナルランプが適切に作動し音が出ているかを確認します。
- ・ ランプカバーが損傷及び汚れていないか点検してください。

10. 点検 (16ページ)

- ・ タイヤの空気圧が正常であるか確認します。
正常な空気圧
フロントタイヤ 1.5kg/c m²
リヤタイヤ 1.75kg/c m²
- ・ タイヤの溝に、石または粉碎されたガラスや金属がついて
- ・ いないかを点検してください。
スクーターに乗る前に、それらを除去してください。



11. フロント・リヤクッションの点検

シートに座りフロントブレーキを握りながらハンドルに全体重をかけてください。フロント・リヤクッションの機能を点検するために上下に揺すってください。

12. 機能的な点検

- ・ フロントランプとテールランプは適切に機能しますか？
- ・ メーター内の各インジケーターは正常に機能しますか？
- ・ 警笛は鳴りますか？
- ・ バックミラーの角度は適切ですか？
- ・ 排気システムは正常ですか？

メンテナンス (17ページ)

- ・ あなたのスクーターを最もよく知り、それを維持し、修理するために十分な装備がされていますのでサービスが必要な時にはPGO 取扱店にご相談ください。
また、スケジューリングされたメンテナンスについてはあなたがメカニカルの有資格者であればほとんどをおこなうことができます。
- ・ 以下のスケジュールにおいて示されたメンテナンス間隔は、正常な乗車条件に基づきます。しばらく乗らなかつたり、非常に汚れたまたはほこりっぽい場所で乗るスクーターは、より頻繁なメンテナンスを必要とします。
- ・ お客様のご希望またはご質問はPGO の正式取扱店にご連絡ください。

定期メンテナンススケジュール（１８、１９ページ）

あなたのスクーターを安全のために良いコンディションを維持するためには、以下の推奨するメンテナンススケジュールをおこなってください。

A： 調整 C： 清掃 R： 交換 T： 増締め

項 目	定期点検と走行距離による点検								運行前	
	400km	3, 000km	6, 000km	9, 000km	12, 000km	15, 000k	18, 000km	21, 000km		
エンジンシステム										
スパークプラグ	3, 000kmごとに清掃又は必要に応じて交換									
ドライブベルト			A		A		A			
点火タイミング			A		A		A			
エアクリナー		C	C	C	C	C	C	C		
キャブレター	A	A	A	A	A	A	A	C		
エンジンアイドルリング タイミング	1900±100rpmに必要なに応じて調整してください									
エミッションシステム	A	A	A	A	A	A	A	A		
フューエルフィルター			C		C		C			
潤滑システム										
オイルフィルター			C		C		C			
オイル残量	必要に応じて推奨されたオイルを補充してください									
ギアオイル	R		R		R		R			
セーフティーパーツ										
タイヤ空気圧	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
タイヤの溝	擦り減っている時には、新しいものに交換してください									A
ブレーキレバー	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
ブレーキフルード	ブレーキフルードの量はアッパーレベルとロアレベルの間でなければなりません									
ブレーキシュー	6000km毎に点検してください。必要に応じて新しいものに交換してください。									
ナット、ボルト、留め金具	T	T	T	T	T	T	T	T		
オイル、フューエルライン	A	C	C	C	C	C	C	C		
ホーン、ランプ	A	A	A	A	A	A	A	A	A	

※ 触媒付き車両のため燃料は無鉛ガソリンを使用してください

※ メカニカルな補助（機械的にわからない事など）についてはPGO取扱店に相談してください。

キャブレター調整 (20ページ)

アイドリング調整：キャブレターにあるスロットルケーブルのアジャスティングスクリューを調整してください。
アジャスティングスクリューは、スロットバルブのケーブルの長さを調整するために使用されます。
アイドリング調整用の1つのスプリングスクリューがありますが販売の前に工場ですでに調整されています。
従って、それによる調整はお勧め致しません。

推 奨

もしキャブレターの調整が必要な場合は PGO 取扱店へご相談ください。

ギヤオイルの交換

推奨するオイル：SAE 140

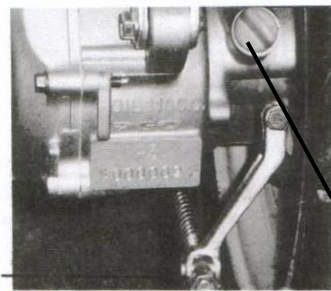
- ・ ギヤオイルの交換ははじめの 300km、1000km 走行後におこない、以後は 3000km 毎に交換をお勧めします。
- ・ 通常のオイル交換量：110 cc

1. 平らな場所にスクーターを立ててください。 (21ページ)

2. オイルドレンボルトとフィリングボルト（注油口のボルト）を外してください。

ギヤボックスの中に残ったオイルが容易に流れ出るようにエンジンが暖かい時におこなってください。

3. ギヤボックス内をきれいにした後に、ドレンボルトをロックしてください。
4. 油面がボトムラインに達するまで補充してください。
5. 補充後、ネジを締めて漏れることが無いよう確認してください。1



フィリングボルト

注意

※もしあなたの乗車条件が下記のうちの1つでもあてはまるならば、推奨期間より早くオイルを交換してください

- ・ 砂利道などを頻繁に乗る。
- ・ 短い距離を乗ることが頻繁にある。
- ・ アイドリング状況が頻繁にある。
- ・ 寒冷地での使用。
- ・ スクーターを長い期間使用せずにいると、湿度、やほこりはオイルに影響します。

※ エンジンを止めた後にオイル交換をする時は火傷に注意してください。

プラグの点検 (22ページ)

推奨するプラグ：BP7HS (NGK)、 L82YC (CHAMPION)

エンジンがかかりにくい時は、プラグがおそらく原因です。プラグを取り外し点検してください。

プラグのクリアランスは 0.6~0.7mm です。

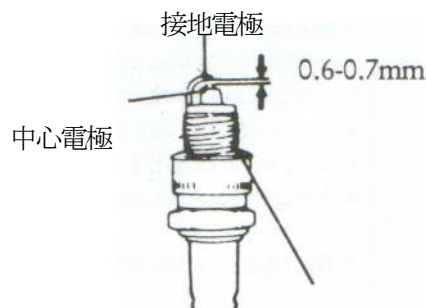
点火プラグをきれいにするためには、プラグ洗浄機を使うのが最も良いです。

もしそのような機械が無ければ、ワイヤブラシとサンドペーパーを使用しガソリンできれいにしてください。

磁器が損傷もしくは壊れていないか点検してください。もし壊れていたら新しいものに交換してください。

注 意

- ・ プラグレンチでプラグを締めてください。
- ・ 点火プラグは安全に締めなければなりません。不適切に締められたプラグは非常に熱くなり、場合によってはエンジンが故障する原因となります。
- ・ 決して、不適切な熱価のプラグを使わないでください。



エアクリーナーの清掃 （ 23ページ ）

エアクリーナー内にほこりが非常に多く蓄積されると、エンジンの出力を低下し、燃料の異常消費を起こします。

1. 左のリヤカバーとネジを取り外してください。
エアクリーナーカバーをエアクリーナーボックスから取り外してください。
2. クリーナーのスポンジを取り外してください。
ガソリンでそれをきれいにし、絞って乾燥させてから2サイクル用オイルを薄く塗って揉んでなじませて下さい。
3. 取り外した逆の順に取り付けてください。

注 意

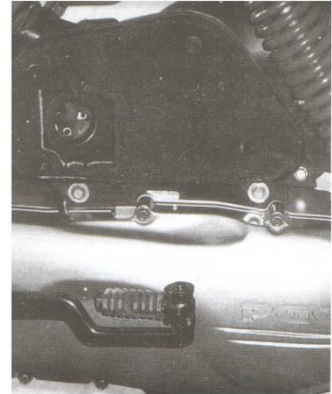
エアクリーナーは正しくおこなってください。

さもなければエンジンの寿命が縮まります。

エアクリーナーを濡らさないように正しく取り付けなければなりません。

エアクリーナーが濡れるとエンジンの始動が困難になります。

エアクリーナーは 3000km 毎にきれいにしてください。



バッテリー （ 24ページ ）

バッテリーはMF（メンテナンスフリー）タイプを使用しています。

メンテナンスフリータイプのためバッテリーの電解質レベルをチェックしたり、バッテリー液を追加する必要はありません。もしバッテリーが漏電もしくは弱った場合（エンジンの始動が困難な場合や電装系の悩みなどある場合）はPGO取扱店にご相談ください。

再充電：

もし充電状態が正常であるならば、再充電は必要ありません。

ただし、車両が高い温度の環境で使用または収納される場合や充電する場合、下記の電流と時間で充電してください。

充電電流の目安

通常充電：0.4A で5～10時間

急速充電の場合：最大4A で30分。



警告（25ページ）

- ・ バッテリー電極の接続を正しくおこなわないと電気回路に損傷を与える可能性があります。
- ・ このMFバッテリーにバッテリー液を補充しないでください。さもなければそれはバッテリーの寿命を縮めます。
- ・ バッテリーへの再充電は充電方法に従ってください。
- ・ バッテリーにはセーフティーカバーと通気穴があるので、充電時はセーフティーカバーを開けないでください。
- ・ このバッテリーは再充電できます。充電後の蓄電効率は弱くなります。
- ・ 再充電をしてもエンジンの始動性が困難な場合は新しいバッテリーに交換してください。
- ・ バッテリーは可燃性ガスを放ちます；火花、炎、及びタバコを遠ざけてください。
充電をおこなう時は十分な換気をしてください。
- ・ スクーター長い期間保管する場合はバッテリーをスクーターから取り外し十分な充電をおこなってください。
そしてそれを、涼しく乾燥している場所に保管してください。
もしバッテリーをスクーターから外すならば、マイナスケーブル側からバッテリーターミナルから離してください。
取付けはプラスケーブル側からバッテリーターミナルへ接続してください。

バッテリー残量の目安

電圧	12. 8V	12. 6V	12. 4V	12. 2V	12. 0V
能力	≒ 90%	≒ 75%	≒ 60%	≒ 45%	< 25%

充電（26ページ）

YT-MF タイプバッテリーのための電解質を使ってください。

希硫酸の比重は 1.32 です。(20℃)

注意

バッテリーは硫酸（電解質）を含んでいます。皮膚または目との接触は酷い火傷を起こす危険性があります。
保護する衣類とフェイスシールドを装着してください。

- ・ もし電解質があなたの皮膚にかかったら、直ちに水で洗ってください。
- ・ もし電解質があなたの目にかかったら、直ちに最低 15 分水洗いしすぐに医師を呼んでください。

トラブルシューティング

以下のガイドはあなたにスクーターが正常に作動しない時の即時の解決方法を提供します。

もし解決できない問題がございましたら PGO 取扱店にご相談ください。

※ エンジン始動における困難

1. 燃焼システム

- a. 燃料タンクに燃料が全然ないかもしれませんので補充する必要があります。
- b. フューエルパイプまたはインレットパイプに妨害物があるか点検してください。
- c. キャブレターが汚れているかもしれません。PGO 取扱店にて清掃してください。

2. 点火装置・プラグの異常な点火（27ページ）

- a. スパークプラグが故障しています。新しいものに交換してください。
- b. スパークプラグが汚れています。清掃してください。
- c. CDI またはイグニッションコイルがショートした場合、PGO 取扱店にご相談ください。
- d. イグニッションスイッチが故障しています。PGO 取扱店にご相談ください。
- e. A. C.ジェネレータが故障しています。PGO 取扱店にご相談ください。

3. スターティングシステム

スターターモーターの動作不良

- a. バッテリーを再充電する必要があります。
- b. イグニションスイッチが故障しています。PGO 取扱店にご相談ください。
- c. スターターモーターが故障しています。PGO 取扱店にご相談ください。

キックスターターの動作不良

- a. スターターレバーが堅くなっています。PGO 取扱店にご相談ください。

※ 走行における不具合

1. 圧縮圧力が不十分な場合

- a. スパークプラグまたはシリンダーヘッドが確実に締め付けられているか点検してください。
- b. その他の問題があった時は PGO 取扱店にご相談ください。

2. エンジン出力の低下と高い燃料消費

- a. エアクリーナー内部が汚れているかもしれません。点検し必要に応じて清掃してください。
- b. その他の問題がございましたら PGO 取扱店にご相談ください。

諸 元 表

型 式	PE50DA
外形寸法：	
全 長	1 6 5 0mm
全 幅	6 4 5mm
全 高	1 0 6 0mm
軸 距	1 1 7 0mm
乾燥重量	7 8 k g
エンジン：	
型 式	空冷2ストローク
型 番	P 5
シリンダ	単気筒
排 気 量	4 9 c c
スタータシステム	セルフ&キック併用
潤滑システム	セパレート
潤滑油	国内2輪メーカー純正及び同等以上のオイル
容 量	1. 1 L
ギヤオイル：	
型番	SAE 1 0 W 3 0
定期交換オイル量	1 1 0 cc
総容量	1 3 0 cc
エアクリーナーエレメントの形式	ドライフィルター
燃料：	
ガソリン	無鉛ガソリン
燃料タンク容量	5. 1 L
点火プラグ：	BP 7HS (NGK)
クラッチタイプ：	ドライタイプ 遠心式
変速機：	無段階変速式 (Vベルト式)
タイヤ：	
サイズ (前輪)	9 0 / 9 0 - 1 0
(後輪)	9 0 / 9 0 - 1 0
エレクトリックシステム	
イグニション	C. D. I
ジェネレーター	電磁フライホイール
バッテリー	YT 4 L - B S
バッテリー容量	1 2 Y 4 A H
ランプタイプ/数量：	
フロントランプ (HI/L0)	1 2 V - 3 0 W / 3 0 W
テールランプ/ストップランプ	1 2 V - 5 W
ウインカーランプ	1 2 V - 1 0 W
スピードメーターインジケーター	1 4 V 3 W
ハイビームインジケーター	1 2 V 1. 7 W
ウインカーインジケーター	1 2 V 1. 7 W

保 証 書

お買上げ頂いたお車を構成する各部品に材料または製造上の不具合がおきた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、下記の保証修理を致します。

一. 保証範囲

1. 保証内容：

お車を取扱説明書に従った整備をおこない正常に使われている上で万一、部品に材料または製造上の不具合がおきた場合、無料修理いたします。(保証修理は部品の交換もあります)(以下この無料修理を保証修理といいます)。なお取外した部品は弊社の所有となります。

2. 保証期間

新車を登録または届出した日から 1 年間もしくは走行距離 15,000 km までのいずれか早い方までが保証期間となります。

3. 保証対象

PGO日本代理店：(有)ナーベルフォースが販売するPGOブランドスクーター

二. 保証修理の受け方：

保証修理をお受けになる場合は、お車とこの保証書をお買上げの販売店へお持ち下さい。
これにより保証修理を致します。※提示されない場合は、保証修理をいたしかねます。

三. 保証できない事項

1. 次に示す事項は保証修理いたしません。

- (1) 時の経過で発生する不具合（塗装面などの自然退色、メッキ面などのさび、消耗品の劣化など）
- (2) 機能上影響のない感覚的現象（音、振動、オイルのにじみなど）

2. 次に示す事項は保証修理いたしません。

- (1) 地震・台風・水害等の天災・事故・火災に起因する不具合
- (2) 純正部品及び指定する油脂類（オイル・ブレーキ液・冷却液等）以外の使用に起因する不具合。
- (3) 煤煙・薬品・鳥糞・塩害等に起因する不具合
- (4) レース・ラリーなどによる酷使或は一般に車輛が走行しない場所での走行に起因する不具合。
- (5) 法令に違反する改造及び弊社の認めていない改造に起因する不具合
- (6) 盗難にあったお車
- (7) 無免許運転に起因する不具合
- (8) 保管または整備不良に起因する人為的な不具合

3. 次に示す費用は負担いたしません。

- (1) 消耗部品の費用（ライト類・ゴム類・ワイヤー類・ネジ類・ピストン・スパークプラグ・ワッシャー類・ブレーキパッド・ブレーキライニング・V型ベルト・ヒューズ・など）
- (2) 油脂類・燃料・バッテリー液などの交換補充の費用
- (3) お車を使用出来なかった事による不便さ及び損失など（電話代・レンタカー代・休業補償・営業損失等）
- (4) 車両修理に伴うレッカー代

四. 保証修理をお受けできない事項

1. 法令及び取扱説明書に示す取扱方法と異なる使用方法及び弊社が示す仕様の限度（最大積載量・乗車定員）をこえて使用した場合
2. 下記の点検整備を実施していなかった場合
 - (1) 乗車前の点検
 - (2) 弊社の指定する定期点検
3. 定期点検整備記録簿を保持していなかった場合
 - (1) 定期点検整備記録簿を大事に保管してください

五. 保証の発効

この保証書は、お買上げ頂いた正規販売店が保証登録書に必要事項を記入、捺印することにより有効となります。

六. 保証の継承

保証期間が残っているお車をお買上げの際は、ご購入後、直ちに正規販売店へお車と保証書をお持ちになり、名義の書換え、必要な点検（有料）と必要事項の記入、捺印をお受け下さい。これにより残りの期間を保証いたします。

七. 保証の適用

この保証書は、日本国内で販売し使用されることを前提としております。従って海外へ持出す場合は、その時点で保証が打ち切りとなりますのでご注意ください。

*この保証書は、本書に明示された期間と条件をもとに無料保証をお約束するものです。この範疇を超えたものに関しては、原則として有償となります。

PGO SCOOTER 日本代理店
有限会社 ナーベルフォース
お問合せ先：
埼玉県戸田市早瀬2-26-28
TEL：048-449-0021 FAX：048-449-0022